平成25年度事業計画書

一般社団法人日本ジュニアヨットクラブ連盟

(概要)

平成20年12月1日施行された新公益法人制度に則って、社団法人である当連盟は「非営利型の一般社団法人」への移行認可を平成25年4月1日に得るべく、認可申請書類を内閣府に提出済みで、昨年11月15日に受け付けられています。

新法人としての当連盟の平成25年度事業計画書は、前記の移行認可取得を前提に、 移行認可申請において提出済みの「公益目的支出計画」に従って、連盟の基本財産を 含む「公益目的財産額」を連盟の諸々の公益目的事業に充当しながら諸事業活動を実 施することとなります。

(事業活動)

- (1) 継続事業1:ジュニアヨットクラブの普及活動と競技会開催に関する事業 5条 第1項 第3号及び第7号)
 - 1. 国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会2013 (和倉大会) (実施事業—I) 5月3日(金・祝)~5日(日)、石川県七尾市和倉温泉の「運動公園ヨットハーバー」を会場に、石川県セーリング連盟の協力を頂いて開催します。 連盟の各登録クラブの公認指導員の皆さんにも運営委員として一緒に参加して頂き、皆さんの楽しい大会としたいと考えています。
 - 2. 夏のジュニアジャンボリー(実施事業—IV) 8月2日(金)~4日(日)、静岡県浜松市の「三ヶ日青年の家」で各クラブの子 供達がクラブ毎ではない合宿をしながら、ヨットレースだけでなく夏の行事に相応 しいキャンプファイヤーや水辺の遊び、山の遊びを楽しみ、交流を深め友達の輪を 広める企画です。
 - 3. 第2回ジュニアヨット国際親善大阪レガッタ(ミキハウスカップ大阪2013) (実施事業—Ⅱ) 9月22日(日)、昨年と同じ大阪市大阪北港ヨットハーバーを会場に、大阪北港 ディンギークラブのご協力を頂いて、日本在住の外国の子供達も交えて一緒に楽し い大会を開催します。
 - 4. 第23回ジュニアヨット国際親善東京レガッタ(ミキハウスカップ東京2013) (実施事業—Ⅲ) 昨年は千葉県稲毛市稲毛ヨットハーバーで開催しましたが、今年は、再び東京国体 終了直後の東京都若洲ヨット訓練所を会場に、10月20日(日)開催します。
- (2) 継続事業2:諸外国との交流・親善に関する事業 (定款第5条 第1項 第4号)
 - 1. 外国チームの招聘事業(実施事業—V) 毎年開催している「国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会」に、今年も、4カ

国 (ニュージーランド、韓国、シンガポール、タイ王国) から各3名のジュニアセーラーと監督・コーチの合計16名を招聘して、交流と親善を図ります。

2. 海外セーリング研修派遣事業 (実施事業—VI)

5月開催の国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会のクラブ対抗レースの上位 3クラブに、海外セーリング研修参加資格を授与する特別賞を設けます。 特別賞を授与された各クラブからそれぞれ1名を選出して頂き、平成26年の春休 みに海外セーリング研修に参加して頂き、その往復渡航費用を連盟で負担支援します。

9月開催のミキハウスカップ大阪2013及び10月開催のミキハウスカップ東京2013で実施するクラブ対抗レースに於いても、それぞれ優勝したクラブに海外セーリング研修派遣参加資格を授与する特別賞を設けました。今年度は、関東水域OP連絡会が主催している「タイクリニック」に、参加料・往復渡航費用を連盟が負担して参加して頂く資格をクラブに授与する特別賞とする予定です。

- (3) 継続事業3:ジュニアヨットクラブの指導者の養成に関する事業 (定款第5条 第1項 第1号、第2号及び第5号)(実施事業—IX)
 - 1. 管理運営安全確保に関する指導事業 毎年の定時総会の開催時に、同じ会場を利用して指導者講習会、安全講習会を開催 して、クラブの管理運営や安全確保等について講習や意見交換を行います。 又、各競技会開催時にも安全講習会をジュニアセーラーも含めて行います。
 - 2. 指導者の養成事業

連盟が制定している「ジュニアヨット指導員認定制度」に従って、各クラブから新規認定申請の募集を行うと共に、4年毎の更新認定の募集も行います。

- 3. 管理運営及び安全確保に関する調査研究事業 新艇開発委員会等諸々の問題について適宜委員会を組織して調査研究を進めます。
- (4) 継続事業4:ジュニアヨットクラブに関する広報活動及び刊行物の発行に関する事業 (定款第5条 第1項 第6号)(実施事業—VIII)

ホームページによる広報活動や広報誌「ユースセーリング」の定期的発行による活動と、希望する事前登録メンバー(正会員、賛助会員、登録クラブの指導者、保護者、ジュニアセーラーその他セーリング界関係者)に「JJYU通信」を随時に、E-mailやファクスで発信して、各クラブその他の皆さんとのコミュニケーションに努めます。

以上